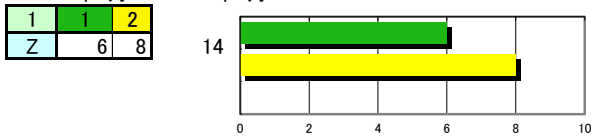


# 令和3年度OB・OGアンケート(修了生) 集計

【A】ご自身について回答してください。

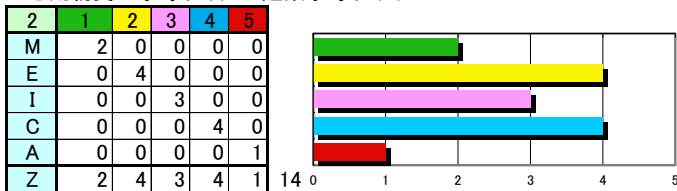
1.専攻科修了年月を回答してください。

1 2019年3月 2 2020年3月



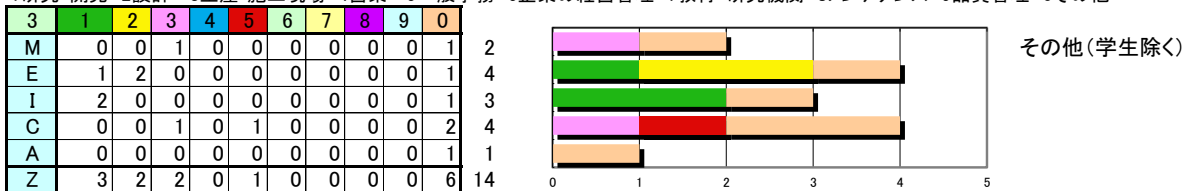
2.専攻科修了時の所属を回答してください。

1.生産情報システム工学専攻(機械系)(M) 2.生産情報システム工学専攻(電気系)(E) 3.生産情報システム工学専攻(電子情報系)(I)  
4.応用物質工学専攻(I) 5.建築学専攻(A)



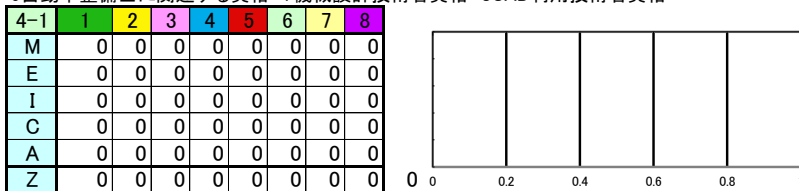
3.現在の勤務先での職種を回答してください。

1研究・開発 2設計 3生産・施工現場 4営業 5一般事務 6企業の経営管理 7教育・研究機関 8メンテナンス 9品質管理 0その他



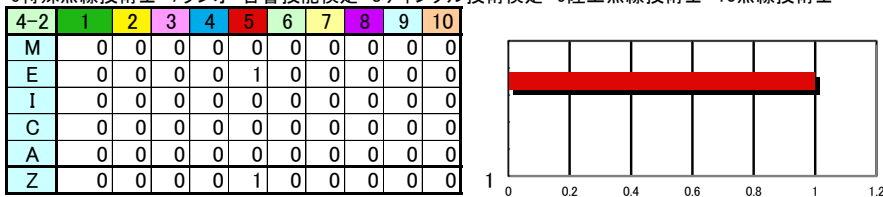
4-1.現在お持ちの資格をすべて回答してください。(機械系)

1ボイラー・タービン関係資格 2非破壊検査技術者技量認定 3圧力容器関係資格 4溶接関係資格 5冷凍空調関係資格  
6自動車整備士に関連する資格 7機械設計技術者資格 8CAD利用技術者資格



4-2.現在お持ちの資格をすべて回答してください。(電気電子情報系1)

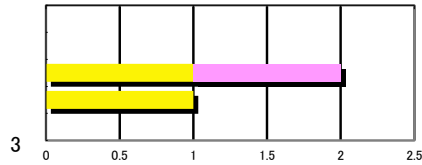
1電気主任技術者(第三種) 2電気主任技術者(第一・第二種) 3工事担任者(各種) 4電気通信主任技術者 5電気工事士(第一・第二種)  
6特殊無線技術士 7ラジオ・音響技能検定 8デジタル技術検定 9陸上無線技術士 10無線技術士



4-3.現在お持ちの資格をすべて回答してください。(電気電子情報系2)

1応用情報技術者 2基本情報技術者 3ITパスポート 4ネットワークスペシャリスト 5データベーススペシャリスト 6情報処理安全確保支援士  
7情報セキュリティマネジメント 8CompTIA 9オラクル認定資格 10マイクロソフト認定資格

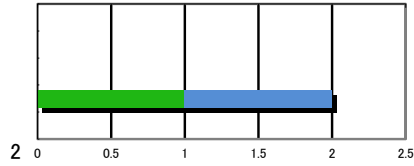
4-3	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
C	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Z	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0



4-4.現在お持ちの資格をすべて回答してください。

1危険物取扱責任者 2環境計量士 3毒物劇物取扱責任者 4公害防止管理者 5作業環境測定士 6中級バイオ技術者 7廃棄物処理施設技術管理者  
8ビオトープ施工管理士一級 10発破技師

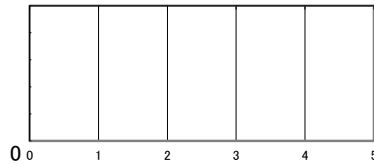
4-4	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Z	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0



4-5.現在お持ちの資格をすべて回答してください。

1一級建築士 2二級建築士 3一級建築施工管理技師 4二級建築施工管理技士 5一級土木施工管理技士 6二級土木施工管理技士  
7一級管工事施設施工管理技士 8二級管工事施設施工管理技士 9建築設備士 10宅地建物取引主任者

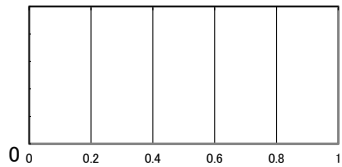
4-5	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
A	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Z	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0



4-6.現在お持ちの資格【共通】

1技術士 2労働安全衛生コンサルタント 3衛生工学衛生管理者 4その他

4-6	1	2	3	4
M	0	0	0	0
E	0	0	0	0
I	0	0	0	0
C	0	0	0	0
A	0	0	0	0
Z	0	0	0	0



**[B]** 本校では、平成29年度(2017年度)より**本科卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)**を定めています。

このディプロマ・ポリシーに関する質問に回答してください。

5.ディプロマ・ポリシーで、育成目標として掲げられた5つの資質・素養を持つ技術者のうち、現在の社会の状況から考えて、重要度の高いものを選び、チェックして下さい。(複数回答可)。

- 1.幅広い工学に関する基礎知識と主体性を身につけた技術者
- 2.専門工学に関する高度な知識と創造性に富み、実践力を身につけた技術者
- 3.自己啓発・向上能力に富み、「ものづくり」を通して社会の発展に貢献できる技術者
- 4.多様な価値観を理解し、学際的な技術分野で活躍できる技術者
- 5.国際社会で活躍できる広い視野と教養をもつ技術者

	5	1	2	3	4	5
M	1	1	1	1	1	0
E	2	3	2	3	1	
I	2	2	2	3	3	
C	2	1	1	3	1	
A	0	1	1	1	0	
Z	7	8	7	11	5	38

6.ディプロマ・ポリシーを満たすために、卒業までに達成すべき9つの学習・教育到達目標を次のように定めています。この中で不要だと思われる項目があれば、その番号を選んでください(複数回答可)。不要な項目がない場合は選択不要です。

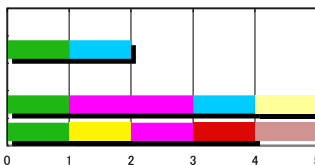
1. 考察力: 地球的視野から物事を多面的に考察できること
2. 倫理観: 社会や自然の中での技術の役割を理解し、技術者としての責任を自覚できること
3. コミュニケーション能力: 適切かつ円滑に読解・表現ができること
4. 基礎知識: 専門分野の基礎となる内容を理解していること
5. 専門知識: 専門分野の内容を理解していること
6. 実践力: 実験・実習等の内容を理解・実行・考察できること
7. 学際的知識: 様々な分野の知識と技術を理解し、複合的に活用するための視野を持っていること
8. 課題探究力: 自ら課題を発見し、その本質を理解できること
9. 課題解決力: 身につけた教養と実践力を活用し、課題を解決できること
10. チェックなし

6	ない	10人	33%
	ある	20人	67%
	1. 考察力	3	21%
	2. 倫理観	1	7%
	3. コミュニケーション能力	3	21%
	4. 基礎知識	2	14%
	5. 専門知識	1	7%
	6. 実践力	0	0%
	7. 学際的知識	1	7%
	8. 課題探究力	1	7%
9. 課題解決力	2	14%	

14

(詳細)

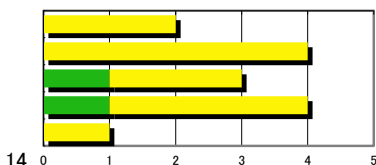
6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1	0	2	1	0	0	1	0	1	0
A	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0
Z	3	1	3	2	1	0	1	1	2	0
14	21%	7%	21%	14%	7%	0%	7%	7%	14%	0%



7.現在の社会の状況から考えて、学習・到達目標の中に取り入れることが望ましい事項があれば、お書きください。

1ある 2ない

7	1	2
M	0	2
E	0	4
I	1	2
C	1	3
A	0	1
Z	2	12
14	14%	86%



学習・教育到達目標の中に取り入れることが望ましい事項

- ・国際化、多様化が進む中で政治的問題・背景、国ごとの価値観の違いに対する理解も必要と考える
- ・メンタル力

【B】本校では、平成29年度(2017年度)より**専攻科**修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)を定めています。

このディプロマ・ポリシーに関する質問に回答してください。

選り、その番号をチェックしてください。いずれも必要度が高くない場合は、「育成目標1~3はいずれも必要度が高くない」のみを選択してください。(複数回答可)

- 1.物事を多面的に考察できる力、社会における技術者の責任を自覚できる高い倫理観、および優れたコミュニケーション能力を備えた高度な技術者
- 2.工学の基礎知識、工学の専門知識および高度に融合された学際的知識を有し、実践力に富む高度な技術者
- 3.課題の探求能力に優れ、またその課題を解決する方法を提案できる高度な技術者
- 4.育成目標1~3はいずれも必要度が高くない

5	1	2	3	4
M	1	0	2	0
E	4	2	2	0
I	2	2	2	0
C	3	1	0	0
A	1	1	1	0
Z	11	6	7	0

24

9.ディプロマ・ポリシーを満たすために、卒業までに達成すべき9つの学習・教育到達目標を次のように定めています。この中で不要だと思われる項目があれば、その番号を選んでください(複数回答可)。不要な項目がない場合は選択不要です。

1. 多面的考察力:物事を多面的に考察できること
2. 高い倫理観:技術者としての倫理観を確立できること
3. コミュニケーション能力:日本語および外国語によるコミュニケーションを適切にできること
4. 工学の基礎知識:工学の基礎知識を専門にまで理解できること
5. 工学の専門知識:工学の専門知識を深く理解できること
6. 実践力:実験・実習等を確実に実践できること
7. 工学の学際的知識:工学の学際的知識を専門知識に活用できる程度に習得すること
8. 課題探究力:現状を進展させるための課題の探求・理解が自らできること
9. 課題解決力:様々な問題に対処できるデザイン能力を習得すること
10. その他

6	ない	9人	64%
	ある	5人	36%
	1. 多面的考察力	3	21%
	2. 高い倫理観	1	7%
	3. コミュニケーション能力	3	21%
	4. 工学の基礎知識	2	14%
	5. 工学の専門知識	1	7%
	6. 実践力	0	0%
	7. 工学の学際的知識	1	7%
	8. 課題探究力	1	7%
	9. 課題解決力	2	14%

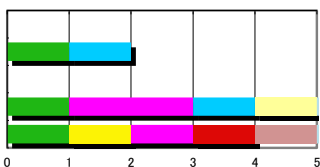
14

(詳細)

6	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
E	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
I	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
C	1	0	2	1	0	0	1	0	1	0
A	1	1	1	0	1	0	0	1	1	0
Z	3	1	3	2	1	0	1	1	2	0

14

21% 7% 21% 14% 7% 0% 7% 7% 14% 0%



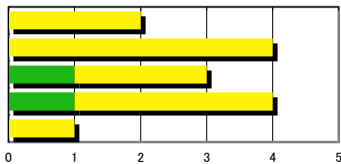
7.現在の社会の状況から考えて、学習・到達目標の中に取り入れることが望ましい事項があれば、お書きください。

1ある 2ない

7	1	2
M	0	2
E	0	4
I	0	3
C	0	4
A	0	1
Z	0	14

14

0% ###

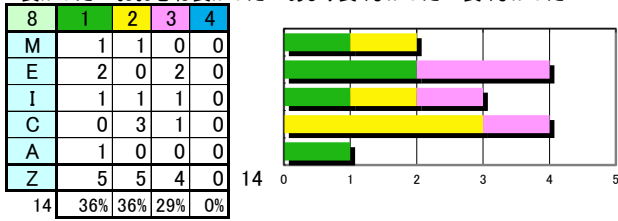


学習・教育到達目標の中に取り入れることが望ましい事項なし

【C】就職・進学後のいまの状況を考慮し、有明高専「本科」卒業時を振り返ってみて、本科での各種教育に対する成果の評価を回答して下さい。

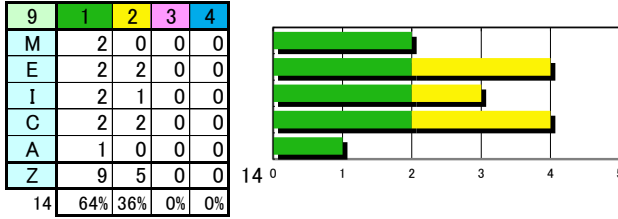
8.一般教育(文科系科目)の学力, 資質・能力について

1良かった 2おおむね良かった 3あまり良くなかった 4良くなかった



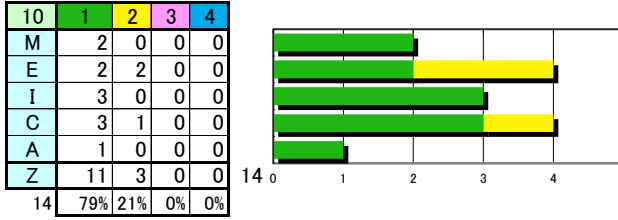
9.一般教育(理科系科目)の学力, 資質・能力について

1良かった 2おおむね良かった 3あまり良くなかった 4良くなかった



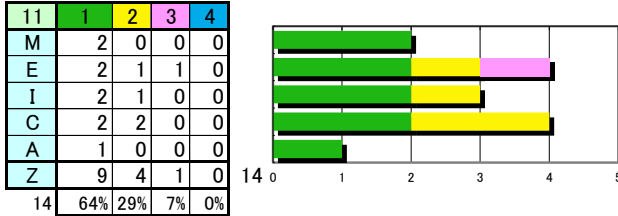
10.専門教育の学力(講義などの座学系科目)について

1良かった 2おおむね良かった 3あまり良くなかった 4良くなかった



11.専門教育の資質・能力(実験, 実習, 演習, 卒業研究などの実技系科目)について

1良かった 2おおむね良かった 3あまり良くなかった 4良くなかった

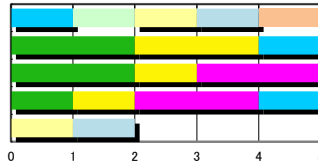


【D】その他

12.就職・進学後のいまの状況を考慮し、(有明)高専本科卒業時から専攻科修了時の間に学生が特に身につけておかなければならない能力は何と思いますか(複数回答可)。

1 専門の基礎知識 2 専門知識の応用力 3 一般的教養 4 学習意欲 5 語学力 6 創意・工夫能力 7 プレゼンテーション能力  
8 健康・体力 9 コミュニケーション能力 10 その他

12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
M	0	0	0	1	0	1	1	0	1	1
E	2	2	0	3	2	1	2	0	4	0
I	2	1	2	3	2	1	2	2	2	0
C	1	1	2	3	2	0	3	0	3	0
A	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
Z	5	4	4	10	6	3	9	2	11	1
54	9%	7%	7%	19%	11%	6%	17%	4%	20%	7%



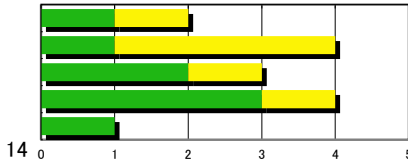
その他の能力

- ・自分の将来設計を考え行動できる自主性

13.有明高専のカリキュラムで学んだこと(講義, 実験, 実習, 演習, 卒業研究など)が, 現在, 役に立っていますか。

1役に立っている 2おおむね役に立っている 3あまり役に立っていない 4役に立っていない

13	1	2	3	4
M	1	1	0	0
E	1	3	0	0
I	2	1	0	0
C	3	1	0	0
A	1	0	0	0
Z	8	6	0	0
14	57%	43%	0%	0%



14.今後の有明高専専攻科が, さらに良くなるためのアイデアがありましたら, 下記にお書きください。

- ・実践力を養う科目を取り入れる
- ・コミュニケーション能力の増強
- ・リベラルアーツ、一般教養、歴史など視座を高める授業が欲しかった
- ・研究計画書など長期スパンの計画の作成能力

15 有明高専専攻科修了生と大学学部卒業生を, 同じ工学・技術系の学習課程を修めた者として比較した場合, 両者の間に業務遂行能力の違いはあると思いますか

1ある 2ない 3回答なし

13	1	2	3
M	2	0	0
E	0	4	0
I	3	0	0
C	3	0	1
A	1	0	0
Z	9	4	1
14	64%	29%	7%

16 「ある」と回答された場合, その違いを下記にお書きください。

- ・専攻科修了生の方が優れている点: 数学的センス, 大学学部卒業生の方が優れている点: 自主性、コミュニケーション能力
- ・専攻科修了生が優れている点: 専門知識の習得度、応用力、コミュニケーション能力, 大学学部卒業生が優れている点: 特に無し
- ・プログラミング能力に限って書くと、基礎的のアルゴリズムの理解と、プログラミングに関する実践的な周辺知識及び背景にある知識量が大学卒に比べて多いことを実感している。結果、未学習の環境の学習スピードが違ってくる。一方で、教養、ビジネスへの関心、コミュニケーション能力、自己成長能力が大学卒に比べ比較的、比較して業務効率と成長速度が頭打ちになりがちだと推測している。